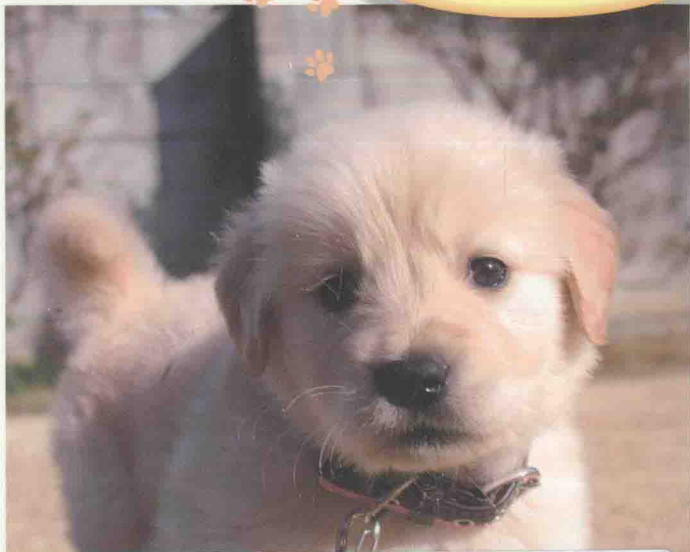


犬のおまわりさん

作 飛鳥望/AMG出版工房
絵 あかつき

優花とココアの
おためし飼い主日記



Dog constable

A girl, YUKA, found an abandoned dog in the park. She had at once sent for the constable. Then the policeman suggests for her to have a dog as a trial.

小狗看护警 优花
和可可亚的饲养
日记

飞鸟 望

优花在公园里捡到一只被人遗弃的小狗。在派出所警察的建议下，她成了这只小狗的实验饲养人。什么时候她才能成为这只小狗真正的主人呢？

常のおまわりさん

ゆう か 優花がコアのおためし飼日記

藏書章

作 飛鳥望 / ANS出版工房

絵 あかつき

作・飛鳥望(あすか のぞむ)

1982年東京都生まれ。10歳のときから14年間、ペランダで日向ぼっこをするのが大好きな柴犬「ペロ」を飼っていた。最近の趣味は自分が日向ぼっこをしながら昼寝すること。別名でライトノベルも執筆している。

作・AMG出版工房

アミューズメントメディア総合学院で「産学共同実践教育」の理念を担う学内出版事業部。出版社や企業と共同で小説・シナリオ・マンガ・イラストなどの制作をおこない、これまでに数多くの在校生・卒業生を出版業界に輩出している。

絵・あかつき

東京都生まれ。可愛いをこよなく愛する。いちごとはちみつが好き。本作品がデビュー作となる。ブログサイト <http://ameblo.jp/akatsuki-832/>

2012年 3 月 第 1 刷 2012年11月 第 5 刷

ポプラポケット文庫080-1

いぬ 犬のおまわりさん ゆう か 優花とココアのおためし か 飼 ぬし にっ き い主日記

作 飛鳥望／AMG出版工房

絵 あかつき

発行者 坂井宏先

編 集 門田奈穂子

発行所 株式会社ポプラ社

東京都新宿区大京町22-1 〒160-8565

振替 00140-3-149271

電話(営業)03-3357-2212(編集)03-3357-2216

(お客様相談室)0120-666-553

FAX(ご注文) 03-3359-2359

インターネットホームページ <http://www.poplar.co.jp>

印刷所 清流印刷株式会社

製本所 大和製本株式会社

Designed by 濱田悦裕

© 飛鳥望・AMG出版工房・あかつき 2012年 Printed in Japan
ISBN978-4-591-12893-0 N.D.C.913 206p 18cm

落丁本・乱丁本は送料小社負担でお取り替えいたします。
ご面倒でも小社お客様相談室宛にご連絡下さい。
受付時間は月～金曜日、9:00～17:00(ただし祝祭日は除く)

読者の皆さまからのお便りをお待ちしております。
いただいたお便りは、編集局から著者へお渡しいたします。

もくじ

プロローグ 5

第一話 あたしと犬のおまわりさん 6

第二話 長い長い散歩の途中で 43

幕間 まくあい お父さんのアドバイス 86

第三話 ちゅうけん 忠犬バロンはなつかない 91

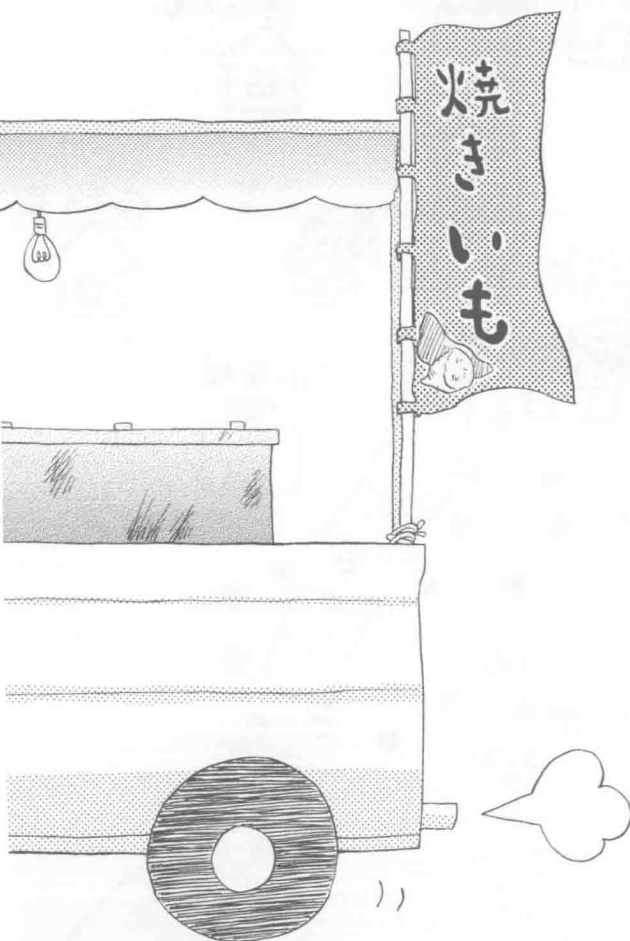
第四話 犬をすてたら、なんでダメなの？ 131

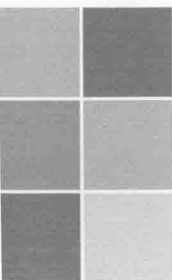


第五話 犬がさいごにいう言葉

エピソード 犬のおまわりさん

201 170





いぬ
犬のおまわりさん

ゆう か か ぬしにっ き
優花とココアのおためし飼い主日記

作 飛鳥 望／AMG出版工房

絵 あかつき

もくじ

プロローグ 5

第一話 あたしと犬のおまわりさん 6

第二話 長い長い散歩の途中で 43

幕間 お父さんのアドバイス 86

第三話 忠犬バロンはなつかない 91

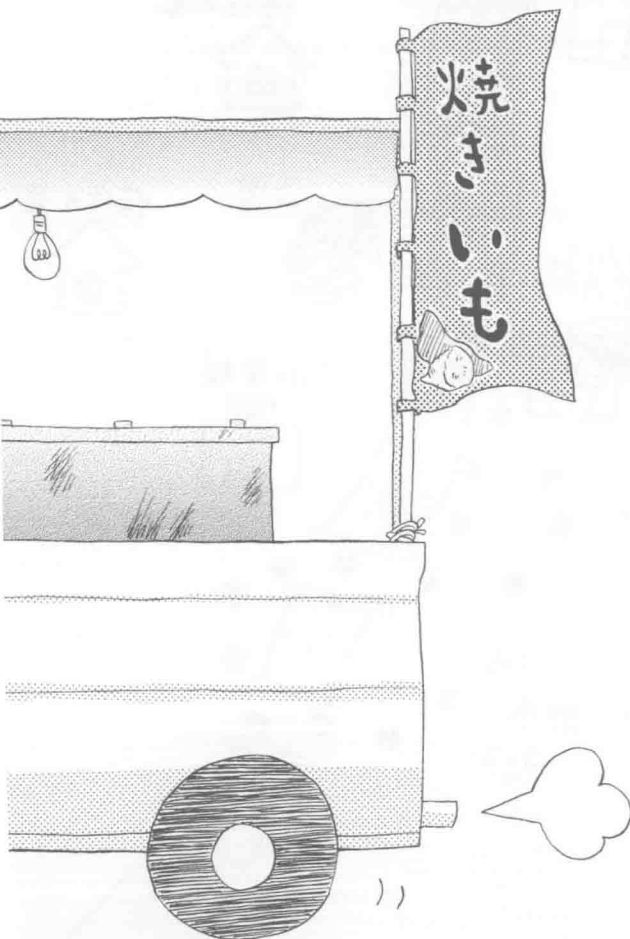
第四話 犬をすてたら、なんでダメなの？ 131



第五話 犬がさいごにいう言葉

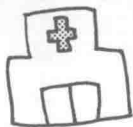
エピソード 犬のおまわりさん

201 170



となり
隣町

病院



ゆうか
優花の家



伏せ
川がわ

公園



かよ
佳代の家



ちゅうざいしよ
馬主住所



小学校



さんぽ
散歩
コース



プロローグ

あたしのくらす伏川町ふせがわちょうには犬のおまわりさんがいる。

といっても、もちろん言葉のとおりに犬がおまわりさんをやってるわけじゃない。

もっとも、おまわりさんの前世ぜんせは犬だったんじゃないかっていわれたら、正直しょうじき、そうかも、なんて思っちゃうときもあるんだけど。

だって、おまわりさんの駐在所ちゆうざいしよは犬であふれてるんだもん。前世なんてものがあるなら、きつと犬だったか、犬と深いかかわりがあつた人なんじゃないかなって思うよ。これは、この町ですてられた犬やまいごの犬をあずかって世話せわしてる、ちょっと変わったおまわりさん、「犬のおまわりさん」とあたし、それに子犬のココアのお話です。

第一話 あたしと犬のおまわりさん

「おはよう！ 優花^{ゆうか}ちゃん。ねえねえ、これ見て！」

教室にはいったとたんに話しかけられた。

ちょっといやな予感。

ううん、ちょっとなんてもんじゃない。ものすごく、いやな予感がしたんだ。

なにしろ、あたしに話しかけてきた佳代^{かよ}ちゃんは、すごいじまんしたがり屋なん
だもん。

もう、口をひらけばすぐにじまん話がでてきて、しかもとまらないんだ。

新しく買ってもらったワンピースのこととか、家族で行ったハワイ旅行の話とか、
タレントに会ったときのこととか、ともかく、そのネタはつきない。

幼稚園^{ようちえん}のときから友だちだし、あかるくていい子なんだけど、そういうところだけ



はちょっとにがて。

ま、だからって返事しないわけにもいかないんだけど。

「んー、どうかしたの？」

なので、あたしは、いかにも興味きょうみがありませんって感じでこたえておいたんだ。で、きるだけ話が短くおわるようになってね。でも……。

「じゃーんっ！ ほら、これっ！」

佳代かよちゃんはずんずん気づかず、ものすっごく得意とくいそうな顔で、ケータイをつきつけてきた。

うーん、どうでもいいけど、佳代ちゃんって、ぜったいあたしのまわりの『空気読めない人ランキング』のトップ3ベリにはいるね。まちがいないよ。

「もー、学校でケータイだしちゃんいけないんだよ。せんせーに見つかったら、とりあげられちゃうんだから」

「ぜったい見つからないから、へーきだよ。ほらほら、それより早く見てよ！」

「なに、ケータイ新しくしたの？」

「ぜんぜんちがうよー！ ほら、待ち受け！」

どうせ、どっかにゆーめい人でもいたから、写メとって待ち受けにしたとかでしょ？

あたしはどーでもいい、って態度のまま、佳代ちゃんのケータイをのぞきこんで……、そこから目がはなせなくなった。

だって、佳代ちゃんのケータイの待ち受けにはちいさなちいさな……、子犬が写ってたんだもん！

「わぁ……」

トイプードルだ！ すごいっ！ かわいいっ！

茶色くつてもこもこの毛が、すっごくさわり心地よさそう！

人なつっこくって、いますっごく人気だってテレビでもいってたし、こうやって見ると、あたしの『飼いたい犬ランキング』の、トップ10ぐらいには入れてあげてもいいかも、って思ってしまう。

ぬいぐるみみたい、なんていう人がいるけど、じょうだんじゃない！ ぬいぐるみ



なんかよりぜったいかわいいよ！

ともかく、もう、もうっ！ ものすつごく、かわいいの！

「なにこれ、なにこれ？ どうしたの？」

「誕生日たんじうびに買ってもらったの、いいでしょー？」

佳代かよちゃんはこのーっとまっ白な歯を見せてにやけた。

「いいなあ！」

しゃくだったけど、あたしは、思わずつぶやいてしまった。

きのう、新しく買ってもらったクツじまんを聞かされたときの百倍は心のこもった
「いいなあ！」だったんじゃないかな。

なにしろ、あたし、犬が大好きなんだから。

きっかけは、幼稚園ようちえんのころずっと見てたアニメかな。

『ぼうけんココア』っていうアニメなんだけどね、メイっていう女の子とココアっていう名前のおっきな犬がいっしょに旅をするお話なんだ。

そのおっきなゴールデン・レトリバーのココアがすつごくかわいいの。かしこく

て、飼^かい主^{ぬし}思^{おも}いで、ほんとにさいこーなんだ。

広い草原で、メイがココアを枕^{まくら}にして眠^{ねむ}つてるところなんて、夢^{ゆめ}で見ちゃうぐらいうらやましかったなあ。

アニメだけじゃなくって、小学校の図書室で見つけた原作の本もぜんぶ読んじやったんだよ。すごいでしょ？

おかげで、あたし、図書室の司書^{ししよ}さんからは本をよく読む優等^{ゆうとう}生^{せい}って思われてるんじゃないかな。

うちの親^{おや}って共働^{ともばたら}きでね、あたしは、いわゆるかぎっ子^こっていうやつなんだ。だから、むかしはきょうだい^{きょうだい}がほしいなんて思^{おも}ってたこともあったけど、やっぱりだんぜん犬^{いぬ}のほうがいいよ。

だって、お兄^{にい}ちゃんとかお姉^{ねえ}ちゃんがいたら、いじめられるかもしれないでしょ？それに弟^{てい}とか妹^妹とかは遊^{あそ}んであげたり、めんどろ見るのがたいへんそう。

その点、犬^{いぬ}って頭^{あたま}いいし、わがままいわないし、ぜったい犬^{いぬ}のほうがいいよね。

「ねえねえ、今^{こん}度^どさわりに行^いってもいい？」

「うん、いいよ！でも、優花ちゃん、そんなに大好きなら、ママに飼いたってお願いしてみたらいいのに」

佳代ちゃんは何んでもないことのようにいった。

「ううん、ダメなんだ。うち、お母さんが犬きらいで」

それができるんなら、とくにやってるよ！　って、どなりたいのをがまんして、あたしはこたえた。

そうなんだ。小学校にはいったときから、あたしは何度も何度も犬がほしいうってってるんだ。

うちにはアレルギーの人もないし、ペット禁止のマンションに住んでるわけでもない。きちんと世話だってするっていつてるんだよ？　それなのに……。

「優花、犬はぬいぐるみとちがうのよ？　生き物なの。そんなかんたんに飼えるものじゃないわ」だって！

うまいこといってごまかそうとしてるけど、けっきょくは自分が犬がきらいなだけなんだよ、きつと。